

家庭教育を応援するための啓発コンテンツについて

1. 作成する啓発コンテンツ

作成する啓発コンテンツは、保護者が多数参加する場での学びや自宅で自ら取り組む学びなど、さまざまな保護者の学びに活用できるよう、「家庭教育の手引き」と「参加体験型学習プログラム」の2種類としていましたが、第3回検討委員会でのご意見をふまえ、「参加体験型学習プログラム」を重視し優先的に作成することとします（当初「手引き」に盛り込む予定であった家庭教育に関するエピソードやコラムも「プログラム」に含めて、手厚くします。）。

2. 参加体験型学習プログラムの内容等

(1) 概要

学習の機会で使用できるプログラムとして、エピソードやテーマについて話し合いやワークをしながら、家庭教育に関する知識の習得や気づきを得られる内容とします。また、学習機会がない場合も、単独で活用できるよう、一人でもできるワークシートや読み物としてのコラムを多数盛り込みます。

(2) 対象

乳幼児期から小学校の子どもの保護者

(3) 構成

① 学習プログラムの概要

- ・学習プログラムの目的、内容
- ・ワークショップの進め方

② ワークシート

- ・入門編、乳児編、幼児編、小学校編に分類する。【👉全体構成：資料2-2】
- ・3種類のシート「進行役用シート」「参加者用シート」「資料シート」で1セットとします。【👉各シートのイメージ：資料2-3】
- ・1セットで30～60分程度で実施できるものとします。
- ・既存のプログラムである「はっぴーパピママワーク（乳幼児の保護者向けプログラム・H25年度作成）」の内容も活用し、統合します。

③ コラム

- ・各テーマにも関連し、興味を持って気軽に読めるコラムを盛り込みます。

【👉各コラムのイメージ：資料2-4】

(4) 活用の場

県が直接実施する保護者向けのワークショップで活用するほか、幼稚園・認定こども園・保育所、学校、家庭教育学級、PTA、公民館、子育てサロン、企業での研修等さまざまな学習の機会での活用を想定。

解説部分やコラムなどは、広報誌、子育て情報誌、学校だよりなどで活用も想定。

(5) 活用方法

冊子での一律の配布はせず、ホームページにテーマ・ワークシートごとに電子媒体を掲載することで、特定のテーマについて学習や研修時の教材として利用するなど、利用者の実情に応じて柔軟かつ多様な利活用を可能とします。

また、データ掲載の特性を生かし、データの更新や利用者からの意見のフィードバックへの対応などにも適宜対応していきます。